

第4学年 国語科学習指導案

1 単元名 心の動きを言葉にして、詩を書こう 「感動を言葉に」

2 研究主題との関連

本学級は、読書を好む子供や国語科の学習に関心をもって取り組む子供が多い。一方、書く活動においては、考えたことや思ったことを相手や目的に合わせた表現で書いたり、適切な言葉を用いて分かりやすく書いたりすることが苦手な子供がいる。また、推敲と見直しが不十分なまま書き終えて満足している姿も見られる。

本単元では、生活の中から自分が伝えたい出会いや発見、感動を選び、表現を工夫して詩を作る活動を通して、「読み返して、書いたものを整える力」を身に付けることをねらいとしている。詩集の完成を単元のゴールとして、必要感や見通しをもって学習を進められるようにしたい。また、詩作を通して、様子や行動、気持ち等を表す語彙を豊かにするとともに、自分自身のものの見方と言葉の使い方に対する感覚を磨くことよさに気付かせ、進んで推敲する態度を育てたい。

本時では、翻作の不十分なモデルを提示して言葉や語順等を検討する場を設定する。具体的な課題について対話を通して解決していく中で、言葉の意味や働き等に注目して、表現のよさや伝えたいこととの繋がりを捉え直し、見通しをもって活動していけるようにしたい。さらに、タブレット端末を、材料となるデータの保存、推敲の記録、作品の共有、振り返りの蓄積等に活用することで、子供たちが主体的・対話的に活動し、その成果を自覚することができるようにしたい。

3 本時の学習（4／8時）

(1) 目標 読み手に思いを伝えるための言葉や表現の工夫について考え、詩を整えることができる。

(2) 展開

学習活動と予想される子供の反応	○教師の手立てと支援 ◆評価
1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。 全体【3分】 より思いが伝わるように、言葉や表現を工夫しよう ・「ヒットを打った喜び」が伝わるように、表現を工夫したいな。 2 言葉や表現の工夫について考え、伝え合う。 ペア・グループ【25分】 【教師の自作モデルA】 ・「おいしそう」という言葉をそのまま使わずに、「よだれ出る」に置き換えたらどうかな。 ・「ずるずる」というオノマトペを使えば、麺をたくさんすすっている感じが伝わると思うよ。 【教師の自作モデルB】 ・同じ音を繰り返した方が、読む人の心に残ると思うよ。 ・例えを使うと、作者が感じた自然の美しさがもっと伝わるんじゃないかな。 3 言葉や表現を工夫して、前時に各自が翻作した詩を整える。 個・ペア・グループ【10分】 ・ヒットを打ったときの喜びを表すには「カーン」と「コーン」のどちらの音がいいかな。「カーン」の方が高い音だから、気持ちが高まっている感じが伝わるかな。 ・「うれしかった」という言葉を他の言葉や言い方にできないかな。 ・「ガッツポーズ」みたいに、そのときにした行動を表す言葉を入れたら、そこから嬉しい気持ちが伝わるかもしれないよ。 4 学習の振り返りを行う。 グループ→個人【7分】 ・より思いを伝えるために、他の言葉に置き換えられないか考えることが大切だと思った。「嬉しい」を他の言葉にしたことで、読む人に気持ちを想像してもらえそうな詩になったと思う。次はそのような詩を自分で作りたい。 ・〇〇さんの詩を見て、例えを使うと感動がより伝わると思った。私も例えやオノマトペ等を上手に取り入れて、自分の思いが伝わる詩を作りたい。	○前時までに集めた「言葉の宝箱」と「表現の工夫」を掲示したり、タブレット端末に保存したりして、本時の活動に生かすことができるようにする。 ○多様な表現が生み出される面白さを感じながら、見通しをもって活動することができるように、提示されたモデルの詩について言葉や表現の工夫を考える活動を設定する。 ○主体的に考え、伝え合うことができるように、グループ内で2種類の詩の推敲を分担して行い、情報を共有する活動を設定する。 ○伝えたい思いと言葉や表現の工夫との繋がりを捉えることができるように、作者の思いを考えるための発問や切り返しを行う。 ○タブレット端末を使用して詩を書くことで、文の書き換えや順番の入れ替え等が容易に行えるようにする。 ○言葉の比較や表現の工夫の有無等について考えるように声をかけることで、工夫の効果を感ずることができるようにする。 ○タブレット端末で詩の推敲の過程を残すようにすることで、表現の変化を振り返ることができるようにする。 ○各自が作った詩を全体で共有することで、友達が考えた詩のよさや表現の工夫を自分の詩に生かすことができるようにする。 ○タブレット端末を使用して振り返りを綴り、共有する場を設けることで、自分の学習の仕方を振り返ったり、友達の振り返りから学んだりすることができるようにする。 ◆思考力・判断力・表現力 作者の思いを伝えるための言葉や表現の工夫について考え、詩を整えている。 (発言、記述)